

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

京田辺市立三山小学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境						3.2
1 音環境		2.5	0.15	-	-	2.5
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		2.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		2.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-	3.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	3.0	-	
2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		1.0	0.40	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
5 湿度・湿度制御		-	-	-	-	
6 露点制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式	空調機その他サーキュラファンを設置しており、きめ細かな室温制御が可	5.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 屋光利用		3.6	0.30	-	-	
1 屋光率	屋光率2.4%	4.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 屋光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	4.0	-	
2 サス・PM10対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能	換気量64.88/15=4.32<4.93となり、十分な自然換気性能がある	4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 換気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物内禁煙としている	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		4.0	0.40	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の円滑化誘導基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高さ3.0mとしている	5.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレは清掃性の高い材料を選定している	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	各教室に掃除用具置き場を確保しており、トイレ内もSKを設置し	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-	3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
1 耐震性	文科省の基準より設計用地震力を1.25倍に割増して計画している	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	法定耐用年数60年としている	4.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	モルタル・ボード類の30年としている	5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋上にはステンレスダクトの設置を計画している	4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	屋外キュービクル、ステンレス受水槽の30年としている	4.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.0	0.29			3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31			
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	敷地内通路を設け、近隣住民の行き来が可能	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.2
LR1 エネルギー			-	0.40			3.1
1 建物の熱負荷抑制			1.0	0.30			1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を利用したシステムを計画している	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		高効率の設備システムとしている	5.0	0.30			5.0
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=36%	5.0				
	集合住宅の評価						
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	運用、維持管理について基本方針の計画がある	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型機器を用いている	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63			3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	パーティクルボード、ルーフィング	4.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体、軽鉄、仕上げ材と分別が可能	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.8	0.22			2.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着剤にて有害物質を含まないものを使用	4.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.68			
1	消火剤		1.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCCO2が参照値に対して100%以下となっている	3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.60			
2	砂塵の抑制		3.0	0.20			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	夜間利用もないため、光害に対しての影響は最小限となる	5.0	0.70			
2	窓光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			